

# 格言名言からのメゾチント

千葉県立四街道高等学校 渡邊康裕

教科:美術Ⅱ 2単位 講座数4 講座の生徒数20人から30人 3学期 授業時数12時間

## この授業でつきたい力

- 言葉によるイメージの表現を追求し、創意工夫して独創的な画面作りをする事ができる。
- メゾチント技法による、版画制作に必要な知識と技術について学ぶ。
- 制作活動を通して版画による表現についての理解を深める。

版画の技法のひとつであるメゾチントは「中間調」という意味で、版の表面に無数の傷をつけてからその表面を削ったり磨いたりして画像を描き出し製版します。フランス語ではマニエール・ノワール「黒の技法」といわれ、ピロードのような質感の黒い画面を特徴としています。今回の授業では、時間・自己・人生・青春・友情の格言や名言を3つ選びその言葉からイメージした画像を作り上げていく。

### 格言を選ぶ

- ・ 分野の違うもの(友情・時間・青春・時間・自己・人生など)を選ぶ事
- ・ そのうちの格言の一つには、名詞が入っていると考えやすい
- ・ 最初のうちは名詞の入っているものからイメージを膨らませる

友情  
青春  
時間  
自己

### コラージュ

- ・ 3枚以上写真を選び、貼り合わせそれぞれのイメージするものを完成させる
- ・ 全体のバランスが白が6黒が4または白が4黒が6の割合になるように工夫する事
- ・ 選んだ格言は、三つの格言にあてはまるように見えること
- ・ 足りない部分については、白の色鉛筆等で書き足してもよい
- ・ 遠近感が出る工夫をすること

### 下絵を写す

- ・ 反転した版を作ることを確認
- ・ 版を潰さない

### 版の制作

- ・ 第1回目の試し刷りが終わるまでは、なるべく同じ強さで削る

### 試し刷り1

- ・ あまり削りすぎないうちに、試し刷りをする
- ・ 下絵を写した線がスクレッパーで軽く削って、おもいっきり白くするところを一カ所オイルをつけて削ったら試し刷り

### 試し刷り2

- ・ 修正・加筆/バニッシャーを使ってみる
- ・ メゾチントは、削り→試し刷り→削り→試し刷りの連続です

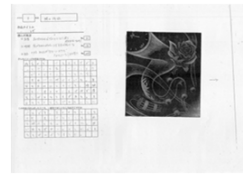
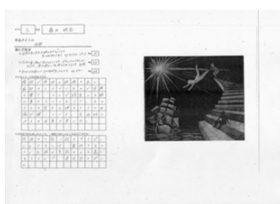
### 本刷り

### 完成

- ・ 提出(作品タイトル・選んだ格言・どんなイメージの作品か・一番工夫したところはどこか)を書いて提出

## 材料・道具

メゾチントプレート 黒の画用紙 カーボン紙 スクレッパー バニッシャー  
版画プレス機 インク ローラー ヘラ 寒冷紗 人絹 ウェス



美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
主題の表現を追求する姿勢をもち、作品の完成を目指した制作活動に取り組むことができる。用具の扱いについて理解し、安全に配慮しながら、目的に合った道具の取り扱いをすることができる。	格言から想像を膨らませ、それを表現するための画面構成をすることができる。	白、黒、ハーフトーンの割り振りやバランスについて考え、アイデアを生かしてまとまりのある美しい画面を追求し、組み立てることができる。特徴あるタッチの効果を生かし、伝えたい形を表現することができる。	参考作品に触れ、その作品がもっている良さや美しさを感じ取ることができる。刷り上がった自分の作品を味わい、良さや課題を理解する。同時に、他の生徒が制作した作品も味わうことができる。